

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和3年 3月

事業所名 GYM s キッズ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|----|--|----|-----|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 利用定員に対して、事業所のスペースは広いほうだと自負しています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 利用される方の状況・人数に応じて、職員数を変動させています。 | 保護者の中には「足りていないのでは?」と感じている方がいらっしゃる点を考慮し、求人も含めてスタッフの配置を検討していきます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | 現在、段差などのある場所がありますが、必要に応じてすぐ対応できるように段差解消スロープの用意があります。 | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 事業所内のミーティングで行っています。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | いただいた評価表の結果を真摯に受け止め、保護者のご意向をくみ取り、できないことはどうすれば意向に近い状態にできるか、職員間で話し合っています。 | 評価表・アンケートのみではなく、日々の会話の中での意見や希望などもくみ取っていくようにします。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | はい。 | 更新回数を増やしていきます。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 適切な第三者機関に依頼していきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 外部研修においては職員の参加希望を募り、積極的に参加しています。また、その報告会や内部勉強会などを行い、情報の共有や個々の技術や知識の研鑽に努めています。 | 今後も、社内・事業所内での会議を継続して行います。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | コロナ禍ではありましたが事業所での日々の様子をお伝えし、利用者本人や保護者の意向を聞き取り、職員同士で話し合い、計画書を作成しています。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 統一した、アセスメントシートや個別計画作成シートを使用しています。 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 定期的にミーティングを開催し、現状と計画に基づいたプログラムを立てています。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節ごとや月のイベントなどを取り入れています。1か月かけて作品を完成させたり、運動では徐々に難易度をあげていくようにして継続性や達成感、成功体験、励まし合ったり協力することを大切にプログラム作りをしています。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 昨年度は「きめ細やかに」という点において、不足を感じるがあったので、今年度は職員間でのミーティングを増やし、個々の課題を考え対応をしました。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 個別活動の内容を充実させ、「できた！」という達成感や成功体験が増えました。 | 「やってみたい」という希望が出ていることを取り入れられるよう工夫していきます。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 毎日、前回の利用時の様子と当日の打ち合わせなどを行っています。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援終了後には終礼を行い、その際に情報を交換しています。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | その日の様子を一人ずつ、事実のみを記録するノートがあります。経過が残っているので、今後の課題などを支援計画に取り入れています。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | モニタリング時期に、書面だけでなく実際にお話を聞くことで、計画づくりに役立っています。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | ○ | | ガイドラインに沿った支援を考え、行っています。(家庭教育や学校教育の補完的支援、地域交流、ソーシャルスキルの習得など) | |

| | | | | | | |
|--|----|---|---|--|--|--|
| 関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 保育士、教員免許保持者など、それぞれの得意分野で力を発揮できるようにしています。また、職員間で意見交換を頻繁に行い、担当者会議には多方面からの目で見えた情報をもって参加するよう心がけています。 | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ | | 施設での生活や学習の様子から、優先させるべきことを学校とそろえるようにしています。 | 学校との直接情報共有は、現状として難しいところがあります。従って、今後も保護者の方に間に入っていただき、連絡を取り合えるようにしていきます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | 現在のところ、医療的ケアが必要な利用者さんはいませんが、今後必要になれば、連絡体制を取っていきます。 | 事前に持病などの聞き取りをしていますが、「もうここ何年も症状が出ていないから」と聞き取れていない症状などがないか、改めて確認をとるようにしています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | 全ての利用者さんの、就学前の情報を得ているわけではありません。小学1年生のお子さんは行っています。児童発達支援事業所とは、できるだけ密に情報交換をしています。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | 今年度は該当する方がいませんでした。今後そういう方がある時は、適切な対応をしていきます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | コロナ禍で中止になった研修もありましたが、積極的に参加しています。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | コロナ禍で利用中止になった施設が多く、交流できる機会が格段に減ってしまいましたが、近隣の公園などに行くと、遊びに来ていた事業所外の子どもたちと一緒に遊べる場を設けています。 | 公園以外での交流の場や機会を考えていきます。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | ○ | | 開かれる協議会には、できるだけ参加しています。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 送迎時の会話や日々の事業所内での様子をお伝えする連絡帳、事業所内での様子をLINEを利用し写真を送ったりしています。 | 今後も密に連絡をとりあって、よりよい支援ができるようにしていきます。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | ご希望の方に、アドバイスを行いました。 | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時に説明をしています。また、コロナウイルス感染症対策時のような、急な変更等を余儀なくされるときには、その都度説明を行いました。 | 今後も希望や必要に応じて説明をします。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 何名もの方から、さまざまなご相談を受けました。おうちでやっていただきたいことと、事業所でやっていくこととお話しし、悩みが軽減できるようにしています。 | |

| | | | | | | |
|------------|------------------------------------|--|---|---|--|-------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 今後検討していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | | ○ | 苦情の窓口は、契約時に必ず説明をしています。また、苦情やご意見をいただいた際には、速やかに職員全員に周知し、適切な対応を行います。 | ご意見等を頂いた際は、職員全員で共有し、対応していきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | 活動や行事予定は事前に配布し、さらにLINEやメールを使って情報の発信をしています。 | 活動内容を理解して頂ける様に資料を配布している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | | ○ | 個人の書類は、鍵付きの書庫に保管しています。職員採用時にも、個人情報保護法に基づき、誓約書を交わしています。 | 特に写真などの取り扱いについては、今後も気をつけていく。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | | ○ | ピクチャーカードを利用しています。その子の状況に応じてカードを変えていきます。新規利用者で、その方が使い慣れたものがあれば、そちらを採用するなど、柔軟に対応しています。 | 今後も継続していきます。 |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | 「ご招待」はできていませんが、事業所周辺の清掃活動などで、挨拶を交わす程度のお付き合いはできています。 | 今後検討していきます。 | |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | 職員は周知していますが、保護者の方には、避難先がどこか、というところまで、マニュアルの詳細はお伝えしていません。 | 今後検討していきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | 半年に1回以上、前回とは異なった災害を想定し、避難に必要なことを確認したり、実際に避難場所に行ったりしています。 | 保護者にもどういった訓練を行っているのか、伝達方法を考えます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | 毎年、必ず行っています。 | 虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知している。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | 契約時に説明をしています。「緊急やむを得ない場合」について説明し、同意を得ています。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | 食物アレルギーのある利用者さんについて、「医師の指示書」のみではなく、「保護者の方の指示」も聞いています。また、食物以外のアレルギーに関しても、事前に聞き取りをしています。 | 後発のアレルギーも随時教えていただくようお願いしています。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | いつでも記入・閲覧できるようにしています。さらに、ミーティングの際に共有しています。 | |